

(教職員による)自己評価結果(生徒指導・支援)

| | |
|---------------|------------------------|
| 平成 25 年度重点テーマ | 自己評価に基づく総合的学校運営及び教育の改善 |
| 目標(ねらい) | 学力の向上と中途退学者の減少に努める。 |

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

| 分類 | 評価の観点 | 評価項目 | 設問 | A | B | C | D |
|---------|-------|-----------|--|----|-----------|-----------|----|
| 生徒指導・支援 | 生徒指導 | 指導方針の一貫性 | 生徒指導は学校の方針に従っている。 | 23 | 52 | 17 | 5 |
| | | 生活指導について | 生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。 | 16 | 42 | 35 | 5 |
| | | 家庭との連携状況 | 生徒指導において、家庭との連携ができています。 | 15 | 66 | 17 | 1 |
| | 生徒支援 | 学習指導について | 学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。 | 11 | 57 | 25 | 3 |
| | | カウンセリング体制 | カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。カウンセラーの活用ができています。 | 3 | 20 | 50 | 22 |
| | | 進路指導について | 生徒ひとり一人の興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。 | 10 | 56 | 28 | 3 |

| | |
|--------------------------------|--|
| 学校長所見 及び 今後の課題・ 改善方策等 | <p>生徒指導方針としては、生徒との対話方式で信頼関係を保ちつつ指導されている。特に、担任は生徒・保護者との信頼関係を構築しており、より親身に寄り添っている。今後は、教職員の誰もが信頼関係の上に指導協力体制を構築し、誰もが寄り添える環境が望まれる。</p> <p>生徒支援については、近年支援を必要とする生徒が増加傾向にある。しかし、体制が確立されるに至っておらず、ひとり一人を充分支援できていない現状にある。今後はカウンセラーへの相談等も含めた支援を必要とする生徒の自立に向けた取り組みが必要となるであろう。ただし、私学にとっての経済的支援も欠かせないため、対外的に啓発していく必要がある。</p> |
|--------------------------------|--|